よく遊び　じっくり学び　正しく選ぶ　子

緑小だより　４月号

令和７年４月９日（水）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校　長　菅　野　康　一

【三つの躾（しつけ）】

緑が浜小学校の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。地域の皆様、いつも緑が浜小学校を温かくお見守りいただきまして、ありがとうございます。令和６年春、別れの季節を経て、出会いの季節がやってきました。さて、本校在籍３年目となる、**菅野康一（すがの　こういち）**が学校長を務めます。よろしくお願いいたします。

新年度を迎え、４月７日の始業式、４月８日の入学式で、「**３つのお願い**」をしました。

①【挨拶】

朝、「おはようございます！」
と自分から明るくあいさつをします。

私はこの２年間、西門のところで、そこを通る人に挨拶をし続けました。挨拶は「自分から進んで行動する力」を育てると考えます。だから今年も続けます！自分の素敵なところをアピールしながら、相手の存在を認め、相手に対して心を開けるような、素敵な挨拶を心がけましょう！

②【返事】

自分の名前を呼ばれたら、「ハイ！」と返事をします。

気持ちの良い返事が習慣になっていると、「何事も素直に受け取る力」「反応・行動力」「思いやる力」「責任感」が備わっていくと考えます。相手の存在を認め、相手のことを尊重していますというサインを出しながら、思いやりのある返事をしましょう！

③【後片付け】

席をたったらイスを入れます。
靴を脱いだら、かかとを揃えます。
お道具箱・ロッカーを整理整頓します。

後片付けは、自分が関わる人・もの・ことを大事にしながら「最後までやり遂げる力」をつけると考えます。一つひとつ、心を磨く気持ちで後片付けをしましょう！

この３つのお話は、「つ」のつくうちに身につけておくことが大事と言われています。「ひとつ、ふたつ、みっつ、、、、、ここのつ」
つまり９歳までにということです。

またこの３つを「子どもにそうさせる」だけでなく、私たち大人が率先して行動で示すことが大切だと言われています。しつけが身につくと、子どもの「我」がとれるそうです。「我がとれるということは、素直な気持ちになるということであり、心の受け入れ態勢が整うということです。こういう子どもは何でも学び・吸収し、伸びていくことができます。無理に押し付ける必要はありません。三つのことを行動で示し、自然にできるようにさえすればよいのです。私たち緑が浜小学校の職員は、保護者の皆様、そして地域の皆様と協力し、子どもたちの健やかな成長のために、力を尽くしていく所存です。今年度もよろしくお願いします。